

# 東京圏の「高齢化」と「少子化」について

---

平成27年6月1日  
石破臨時議員提出資料

# ① 2025年にかけての後期高齢者増加の見通し

○2025年にかけて、東京圏は高度成長期に流入した人口が75歳以上になることで急速に高齢化。後期高齢者は**10年間で175万人増える**。

後期高齢者（75歳以上人口）の見通し

	75歳以上人口		増加数 (万人)	順位	増加率 (%)	順位
	2015年 (万人)	2025年 (万人)				
東京都	147.3	197.7	50.5	1	34.3%	11
東京都区部	98.7	129.8	31.1		31.5%	
東京都市町村部	48.6	68.0	19.4		40.0%	
神奈川県	101.6	148.5	47.0	2	46.2%	3
大阪府	107.0	152.8	45.8	3	42.8%	5
埼玉県	76.5	117.7	41.2	4	53.9%	1
千葉県	71.7	108.2	36.6	5	51.0%	2
愛知県	81.7	116.6	34.9	6	42.8%	4
高知県	12.7	14.9	2.2	42	17.0%	39
佐賀県	12.2	14.3	2.1	43	17.2%	38
秋田県	18.8	20.5	1.7	44	9.2%	46
山形県	19.0	20.7	1.7	45	8.8%	47
鳥取県	9.0	10.5	1.4	46	16.0%	42
島根県	12.3	13.7	1.4	47	11.2%	44
全国	1,645.8	2,178.6	532.7		32.4%	

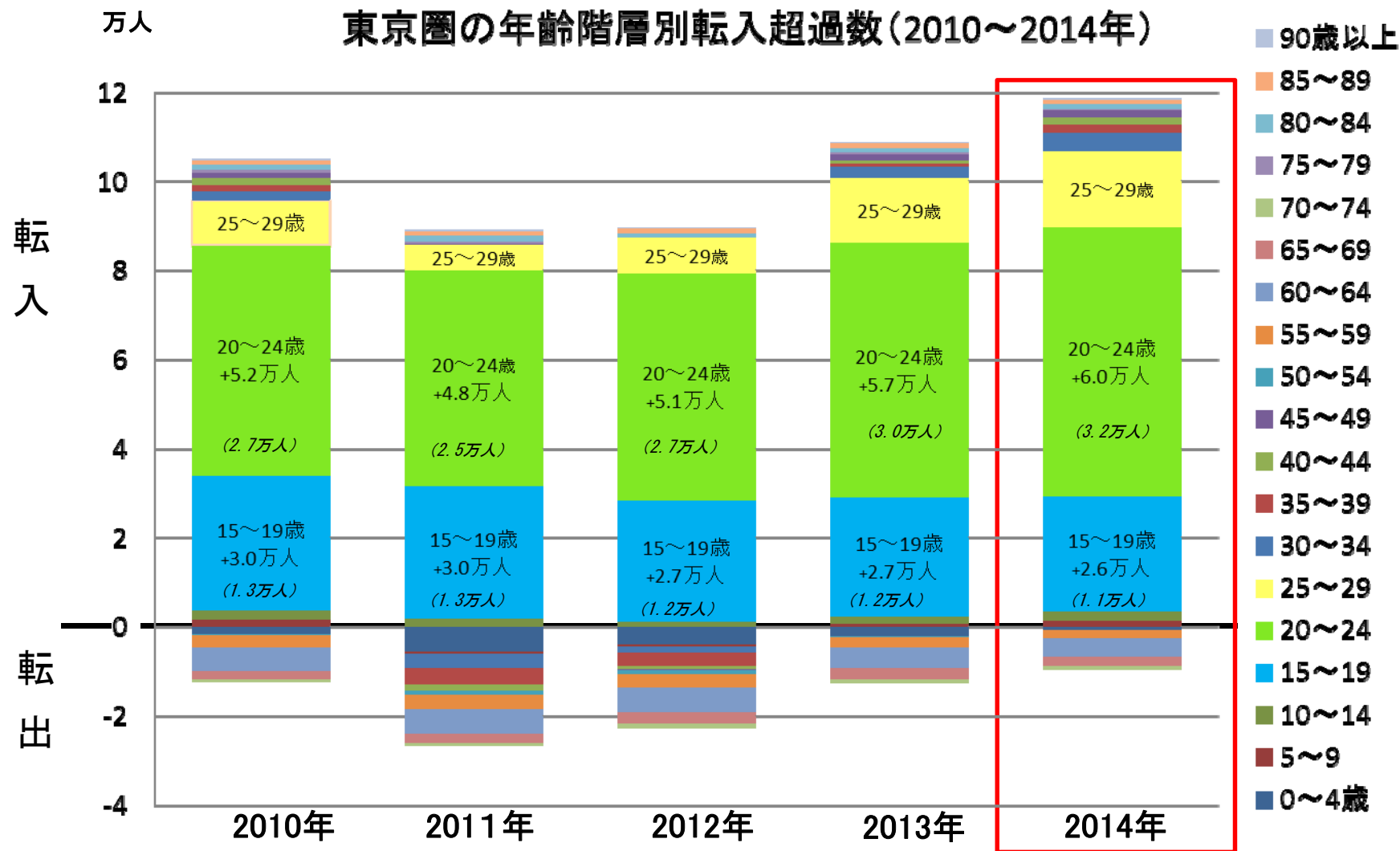
→ 一都三県の増加数  
→ 175.2  
→ 万人

全国の増加数の  
3分の1を占める。

資料: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成25年3月推計)

## ② 東京圏への転入超過

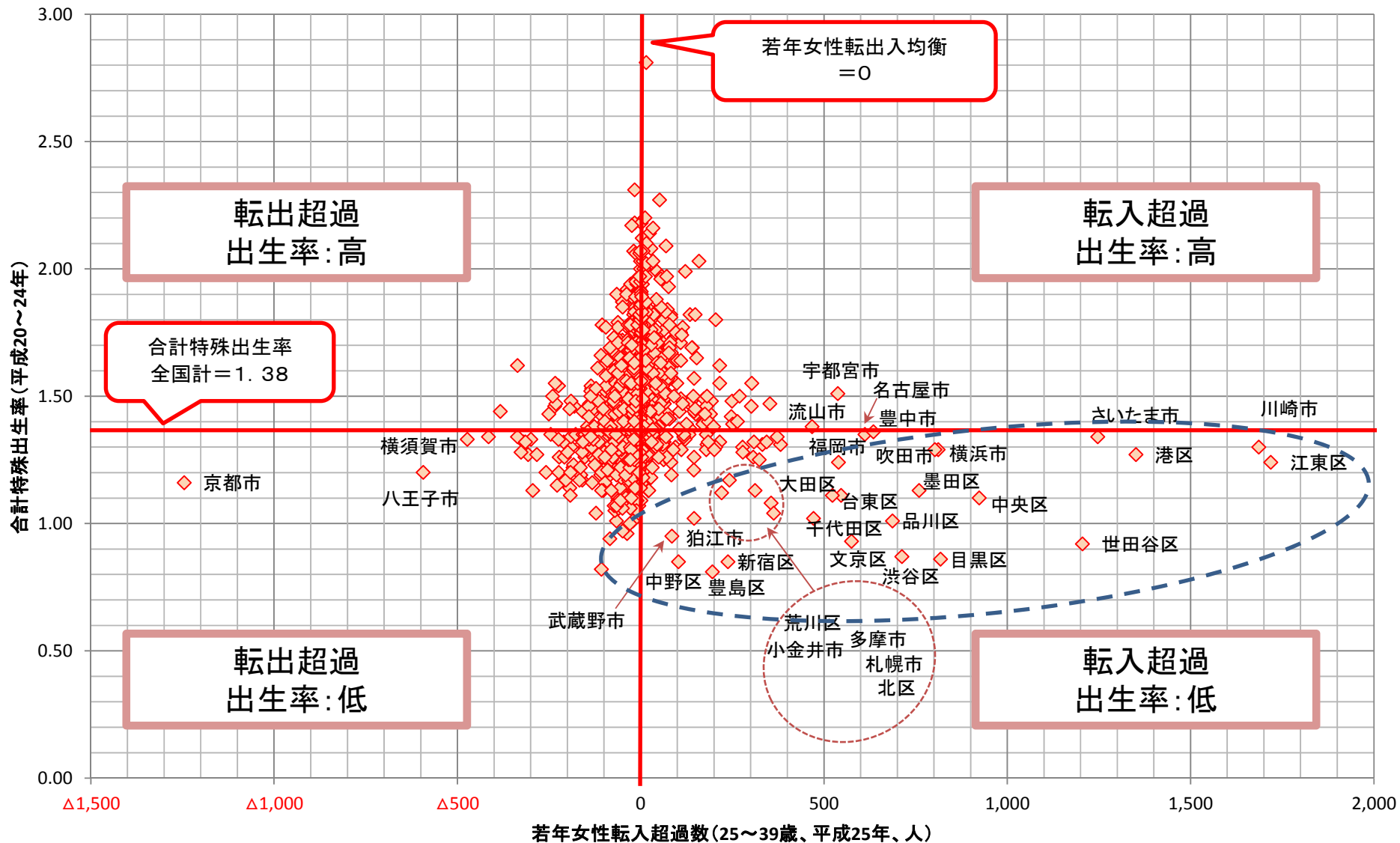
○ 東京圏への転入超過数の大半は20～24歳、15～19歳が占めており、大卒後就職時、大学進学時の転入が考えられる。



※東京圏:東京、神奈川、埼玉、千葉各都県の合計。グラフ内の人数は百人以下四捨五入。( )内の数値は女性再掲。  
資料出所:総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」(2010年—2014年)

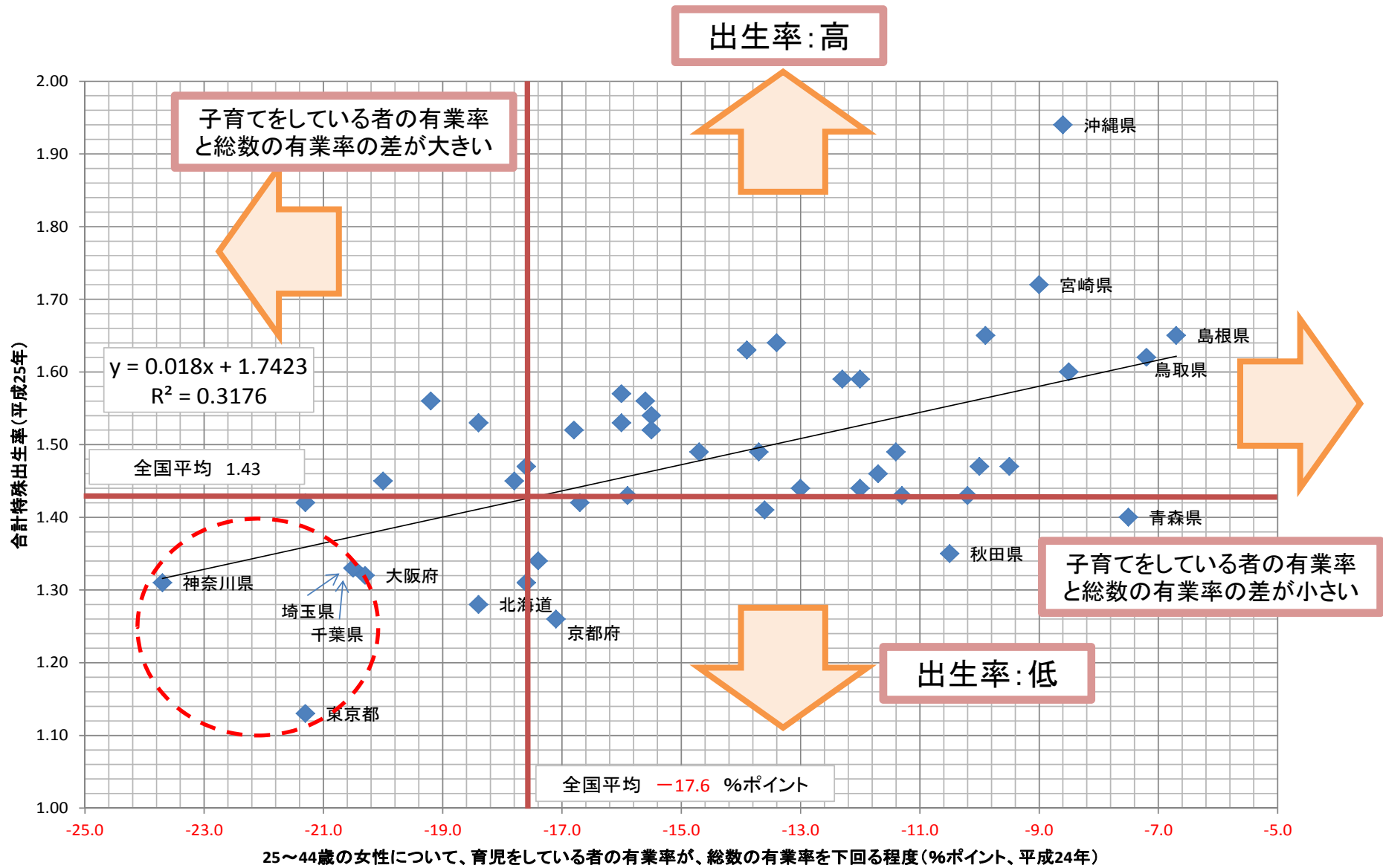
### ③ 若年女性転入超過状況と出生率

若年女性転入超過状況(平成25年)と合計特殊出生率との相関(平成20~24年ベース)



資料:住民基本台帳のデータから、まち・ひと・しごと創生本部事務局で作成した移動状況、及び、厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態保健所・市区町村別統計」から作成。

# ④ 働き方と出生率（仕事と子育ての両立）



資料:総務省統計局「就業構造基本調査」(平成24年)、厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」(平成25年)から作成。